

令和7年度 住之江区区政会議
第3回 防災・安全部会 会議録

1 開催日時 令和8年2月17日（火）19時00分から20時00分まで

2 開催場所 住之江区役所 第3-1・3-2会議室

3 出席者

〔区政会議委員〕

五十崎 晴久 委員、糸岡 智美 委員、大山 妙子 委員、
坂田 光典 委員、太郎良 勇二 委員、中川 隆夫 委員、
山中 啓輔 委員

（出席7人／定数8人）

〔住之江区役所〕

玉置 信行 副区長
戸井 正人 防災安全担当課長
峯上 和博 防災安全担当課長代理

4 発言内容

○戸井防災安全担当課長

皆様、こんばんは。

それでは、令和7年度住之江区区政会議第3回防災・安全部会を開催いたします。
私は、事務局の住之江区役所協働まちづくり課の防災安全担当課長の戸井でございます。
どうぞよろしくお願いたします。

それでは、本日、ご出席いただいております委員をご紹介します。お手元の名簿にてご確認ください。2枚目ぐらいに名簿がございます。

本日会場にお越しいただいている委員は、五十崎部会長、右からですけれども、糸岡委員、大山委員、太郎良委員、中川委員、山中委員、坂田委員でございます。本日、浜野委員におかれましては、所用により欠席されております。

本会議は、午後7時現在、全委員の8名中7名のご出席をいただいておりますので、定足数でございます委員定数の2分の1以上を満たしておりますことをご報告いたします。

住之江区役所の出席者につきましては、配席表にてご確認ください。

また、発言する際には、役職と名前をお伝えいたします。

この会議には、個人情報などの非公開情報はございませんので、公開とさせていただきます。

また、本日の傍聴者はおられません。

なお、大阪市では近年の気候変動対策をはじめとする環境施策や、職員の働き方改革の観点を踏まえ、軽装勤務の通年化を実施しております。気温や体調等に応じた快適な服装での会議出席となりますことをご了承ください。

本日の議論の内容につきましては、3月17日火曜日に開催予定の区政会議全体会で部会長からご報告いただきまして、情報共有を図ってまいりたいと考えております。

また、議事録につきましても後日公表となり、公表する際は発言者と発言内容についても公開されますので、ご承諾いただきますよう、よろしくお願いいたします。広報や記録のために、写真を撮影させていただきますので、合わせてご了承くださいますようお願いいたします。

それでは、本日の資料の確認をお願いいたします。まず、次第のほうです。一番上にあります次第です。その次に、住之江区区政会議委員名簿ということで、両面刷

りの委員名簿がついてございます。その次が、配席図でございます。その次に、資料1のホチキス留めの令和8年度住之江区運営方針（案）についてということでございます。次、右肩に資料2と書いてございませぬけれども、ホチキス留めでいただいた意見と対応方針でございます。その次、資料3、区政会議についてということで両面刷りになってございます。その次に、ご意見をいただきたい事項ということで、1枚物がございます。その他、カラーの資料がございまして、避難カード、これも両面刷りでございます。折り畳みの分です。それより小さい携帯版の避難カードということでございますけれども、不足等ございませぬでしょうか。よろしいでしょうか。

本日の会議でございますけれども、現在策定に向けて進めております令和8年度住之江区運営方針（案）についてのご報告をさせていただいて、来年度の各取組をよりよいものになるよう、ご意見をいただきたいと思っております。

時間は、本日20時までの1時間を予定しておりまして、スムーズな議事進行にご協力をお願いいたします。

なお、今回の会議から資料の様式を変更させていただきまして、より見やすく分かりやすい内容となるよう工夫をいたしました。

具体的には、中長期的な施策の方向性を示した将来ビジョンと、単年度ごとのアクションプランである運営方針に関する解説を記載したほか、課題設定の根拠となる現状、データを記載し、経営課題ごとに戦略や具体的取組をご確認いただけるような構成としております。

それでは、ここから議事を開始しますので、部会長にお任せいたしまして進めていきたいと存じます。

五十崎部会長、よろしくお願いいたします。

○五十崎部会長

皆様どうもお疲れさまでございます。よろしくお願いいたします。

それでは、部会の議事を進めさせていただきます。

本日は、令和8年度住之江区運営方針（案）について議論いただきます。

早速でございますが、事務局より説明をお願いいたします。

○戸井防災安全担当課長

それでは、本日の資料でございますけれども、ホチキス留めの資料1、令和8年度住之江区運営方針（案）について、とさせていただきます。

運営方針とは、住之江区が重点的に取り組む課題を挙げて、この課題を解決することを目的とした取組を掲げたものとなっております。令和8年度も、子どもに関すること、地域と福祉に関すること、防災防犯に関すること、この3つの経営課題を挙げております。

当部会では、そのうちの経営課題3の「安全・安心に暮らすために」についてご議論いただくこととなります。

資料につきましては、この課題でめざす主なSDGsゴールを掲載しておりますので、ご参考にご覧ください。

それでは、具体的な説明に入らせていただきます。

資料1の2ページ目以降には、これまでの取組の課題と方向性を踏まえた具体的な令和8年度の計画を記載しております。この資料に基づき説明をさせていただきたいと思っております。

なお、特にご意見をいただきたい箇所につきましては、別紙でご用意をしております。

まず、2ページ目をご覧ください。区の目標としまして、住之江区将来ビジョンでも掲げておりますけれども、子どもから高齢者まで、住之江区で暮らし、学び、働くすべての人が、自分の将来に夢と希望を持って、地域への愛着や誇りを持ちながら、充実した日常生活を営むことができる「心から誇りに思えるまち、住之江区」をめざすとしております。

続いて、区の使命としまして、住之江区が担う役割を記載してございますので、

ご一読ください。

最後に、令和8年度運営方針の基本的な考え方としまして、区長の方針を記載しております。この中の3つ目のポツをご覧ください。防災・安全部会としましては、安全・安心に暮らすために、「災害に強いまち」「防犯意識の高いまち」をめざしますとした方針を記載しております。

続きまして、3ページをご覧ください。令和8年度住之江区運営方針（案）の作成に際して、課題設定の根拠となる現状・データを経営課題ごとに掲載しております。

初めに、経営課題の3-1「災害に強いまち」に関して説明をさせていただきます。住之江区では、大和川の氾濫や高潮、南海トラフ巨大地震等による津波浸水が想定されており、とりわけ南海トラフ巨大地震発生後には、最短で110分、最大5.1メートルの津波が到達すると想定されており、津波による死者・負傷者・重傷者の人数は1万3,376名と想定されております。

また、住之江区内の各地域では、おおむね年に1回は防災訓練が実施されておりますが、若い方の参加者が少ないなど参加者に偏りがある状況です。

昨年の12月14日、日曜日に、すみのえ舞昆ホールで「令和7年度防災セミナー」を開催いたしまして、111名の参加がありました。参加者アンケートを実施した結果、「お住まいの地域または家庭で災害による備えができています」との問いに肯定的な回答をした割合が49%ございまして、引き続き、区民の防災に関する感度を上げていく必要があると考えております。

以下、住之江区の防災に関する取組実績を掲載しておりますので、お時間のある際にご確認をいただければと考えております。

次に、4ページをご覧ください。ここでは経営課題3-2「防犯意識の高いまち」として、住之江区内の街頭犯罪発生件数についてグラフで掲載をしております。街頭犯罪とは主に、「ひったくり」「路上強盗」「車上狙い」「自転車盗」などになります。平成27年の街頭犯罪発生件数は1,205件でしたが、この発生件数は減

少し、令和3年には456件と3分の1程度までに減少をいたしました。その後は年々増加し、令和6年には634件の街頭犯罪が発生しております。

こうした防災、防犯に関する現状、データを基に、令和8年度運営方針（案）を作成いたしましたので、これからご説明をいたします。

5ページをご覧ください。3-1「災害に強いまち」についてでございます。めざす状態として、「自助・近助・共助・公助による備えのできた防災力の高いまちをめざす」としてしております。課題認識につきましては、「自助」「近助」に対する一層の意識の向上や、自助・近助・共助による防災力の向上と多数の人材育成、減災のための環境を一層整備する必要があると考えております。これらの課題解決に向け、具体的取組として2つのことについて取り組んでまいります。

次、6ページをご覧ください。一つ目の具体的取組は、3-1-1「自助・近助・共助による防災力の向上と圧倒的多数の人材育成」です。令和8年度の「方向性」「取組内容」として、引き続き、大阪防災アプリや避難カードなどの啓発ツールを活用して、住之江消防署とも連携しながら、地域、学校、企業への出前講座や訓練説明会、防災訓練などの機会を捉えて周知していきたいと考えております。合わせて、地域防災訓練や地区防災計画の改定支援も行ってまいります。こうした取組の成果指標として、防災訓練の実施回数14回を目標に取り組むこととしております。

続きまして、7ページをご覧ください。二つ目の具体的取組は、3-1-2「減災のための環境整備」でございます。令和8年度の「方向性」「取組内容」として、災害に備え津波避難ビルや防災パートナー、備蓄物資などの充実を図り、区内のいろいろな団体が集まる企業・NPO・学校地域交流会で協力を呼びかけるなど、幅広く声かけをして、協力いただける企業を募っていきたいと考えております。これらの取組の成果指標として、防災パートナーの新規登録件数を2件以上としており、目標に向けて取り組んでまいります。

3-1-1「自助・近助・共助による防災力の向上と圧倒的多数の人材育成」、

3-1-2「減災のための環境整備」の2つの取組の評価指標として、5ページに戻りますけれども、令和11年度末までに防災セミナーへの参加者数の合計延べ500人以上を目標値に掲げております。

続いて、3-2「防犯意識の高いまち」ということで、8ページをご覧ください。「めざす状態」として、「ひったくりや路上強盗など、犯罪のない安心して暮らせるまちをめざす」としております。課題認識については、防犯意識の向上に向けた意識啓発や、街頭犯罪抑止のための環境整備について引き続き取り組む必要があると考えております。これらの課題解決に向け、具体的取組として2つのことに取り組んでまいります。

続いて、9ページをご覧ください。一つ目の具体的取組は、3-2-1「防犯意識の向上に向けた啓発」についてでございます。令和8年度の「方向性」「取組内容」として、特殊詐欺に狙われやすい高齢者への対策に向け、住之江警察署と連携した啓発や、特殊詐欺被害防止録音機の貸与などに取り組んでまいります。これらの取組の成果指標として、街頭キャンペーンの実施回数が合計12回を目標として取り組んでまいります。

続きまして、10ページをご覧ください。二つ目の具体的取組につきましては、3-2-2「街頭犯罪抑止のための環境整備」についてでございます。令和8年度の「方向性」「取組内容」として、効果的な青色防犯パトロールカーによる巡視やひったくり防止カバー取付キャンペーンの実施、防犯カメラの適切な維持管理に取り組んでまいります。これらの取組の成果指標として、ひったくり防止カバー取付キャンペーンの実施回数が合計12回を目標として取り組んでまいります。

3-2-1「防犯意識の向上に向けた啓発」、3-2-2「街頭犯罪抑止のための環境整備」の2つの取組の評価指標として、すみません、もう一度8ページに戻っていただきますと、令和11年度末までに特殊詐欺の被害防止並びに街頭犯罪防止キャンペーンにより啓発した人数の合計を延べ1万2,000人以上、年間2,400

人以上を目標値に掲げております。

11ページに戻っていただきまして、11ページ以降には、防災、防犯に関する具体的な取組を掲載しておりますので、またこれは、お時間のある際にご覧いただければと考えております。

また、本日の会議でご意見をいただきたい事項として、2つ掲げております。

こちら1枚物のところですね。こちらをご覧ください。2点ございまして、上のほうから申し上げます。「普段からの備えなど区民の防災意識の向上に向けどういった取組が効果的であるか」という部分と、「大阪防災アプリ、避難カード等の利用促進について」の、この2点でございます。

特に、この2つ目でございます「避難カード」についてでございますけれども、これについて、簡単に説明をさせていただきます。後ろのほうに、カラー刷りのこういう、この2つをお付けしております。

まず、住之江区では、災害が発生した際に、ご自身や家族などの命を守るための行動や必要となる情報などを記す「避難カード」を作成し、出前講座やイベント等を通じて啓発しております。もう既にご存じの委員さんもいらっしゃるかもしれませんが、改めてご説明をいたしますので、こちらの大きいほうの「避難カード」をご覧ください。この「避難カード」、この小さいほうと2種類ございますけれども、大きなものと小さいほうと、こう携帯用と分かれてございまして、この大きいほうで、1ページ目という、この「避難カード」って書いてる小さく片隅に1と書いてあるのがページ数になるんですけれども、ちょっと見ていただけますでしょうか。「避難カード」という1のところですね。

これは、発災直後として、まずは「身を守る行動」をとること、次に揺れが収まってからの行動を記載しております。その2ページ、3ページは、ちょうどそのちょうど上側でくるっと回していただきまして、「津波がない場合」と「津波がある場合」の2種類の記載場所がございます。例えば一時避難場所や災害時避難所の名称、

津波避難ビルなどの名称を記載するようになってございます。また、その右側に④、⑤とありますけれども、4ページ目、5ページ目には大和川の氾濫に関して、避難する目安となる警戒レベルや、災害時に役立つサイトにつながるQRコードが掲載されています。次が、これをまたくるっと回していただいて、6ページの部分、⑥では、こちら、台風や高潮に関する内容を掲載し、7ページにはご本人やご家族の名前、住所、電話番号などの情報が記載できるようにしております。最後に8ページ、真ん中の辺にはコロナ禍の避難行動を掲載しております。このように、災害時に必要な情報を掲載しておりますけれども、過去に「情報が多過ぎるのでは」とか、あと「財布などに携帯できるようなサイズにしてはどうか」といったご意見を、以前の区政会議で議論された経過がございまして、その委員の皆さんにもご意見をいただきながら作りましたのが、こちらの小さいほうの携帯版の「避難カード」となってございます。

これも、「避難カード」の内容はかなり小さいので、情報を絞って小さくしているんですけども、財布やかばん等に携帯していただくことを想定して作られたものでございます。

本日の会議で、掲載している内容や大きさ、もっとこうしたらよいのではないかなど、忌憚のないご意見を聞かせていただければと考えております。

非常に長くなりましたけれども。すみません、ちょっと追加でお伝えすることがございまして、前回の区政会議において、本年4月1日に施行予定の道路交通法の改正に関連して、委員の皆様より効果的な啓発方法についてご意見をいただいたところでして、いただいたご意見を踏まえ、区役所でも検討を行いまして、今年の1月より住之江警察署と連携し、各地域の掲示板へチラシを掲出させていただきました。合わせて区役所ホームページにおいても、関連記事をアップしております。

また、来月に発行予定の広報紙の「さざんか3月号」におきましても、関連記事を掲載する予定としております。住之江警察署においても、自転車のマナーやルールに関する出前講座を実施しておりまして、引き続き住之江警察署と連携して啓発の取

組を努めてまいりたいと考えております。すみません、ちょっと追加になりましたけれども、以上でございます。

私からは以上でございます。よろしく申し上げます。

○五十崎部会長

ありがとうございます。

ただいまの事務局の説明を受けて、各取組についてのご質問や、よりよい取組するために必要なこと、また事務局から特にご意見いただきたいと依頼のあった内容について、ご意見、ご提案をいただければと思います。なるべく多くの委員からご意見をいただきたいと思いますので、簡潔にお願いいたします。どの取組からでも結構です。よろしくお願いいたします。

ということで、今日は避難のことも一部ありまして、先ほどちょっと私が回らせていただいたものなのですが、たまたまの形になりました。これは、ちょっと私も今、勉強中でして、平成30年の、いわゆる西日本豪雨、2018年に起きた西日本豪雨のときに、一番被害が多かった真備町の方が51人だったかな、亡くなられたという形で、いかに避難していったらいいかということで、国のほうが、今まで、その行政が逃げてくださいますよと言っていたのを、そういう何か災害が起きたら、専門家の方たちによる検証部会が起きて、反省して、また新たに対策をとっての繰り返しで、それではいかんだろうということで、やっぱり国民の我々が主体的に逃げなければいけないんじゃないかということで、裏面の最後、この間にはいろいろな資料があったんですけども、最後「おわりに」ということで、「国民の皆さんへ～大事な命が失われる前に～」ということで、真ん中のほうですが、避難するかは「あなた」が判断してください。皆さんの命は皆さん自身で守ってくださいという言葉があります。この辺、いろいろ例が挙がっておりますので、ちょっと皆さん、参照していただいたら結構かなと思います。

私から、参考事例としてお配りさせていただきました。

では、今、事務局からご提案いただきましたことについて、ご質問、ご意見あればお願いいたしたいと思います。

まず、そしたら、ご意見をいただきたい事項ということで、「普段からの備えなどが区民の防災意識の向上に向け、どういった取組が効果的であるか。」からちょっとまずいきたいと思いますが、どうでしょうか、何かご意見ある方。

はい、どうぞ山中さん。

○山中委員

山中です。「ふだんからの備えとか区民の防災意識の向上に向け、どういった取組が効果的であるか」ということについてなんですが、私自身、去年末ぐらいになるんですけど、住之江区のPTAの協議会のほうで、研修というのがありまして、そのときに阿倍野防災センターのタスカルのほうへ行かせてもらったんですけども、やっぱりそこに行ったときに、その災害が起こったときはどんな感じになるんかという、ちょっと見る人からしたらショッキングな映像とかもあったりもするんですけど、実際に、皆さんその災害が起こったとき、どういった感じになるのかっていうのが、多分、いまいち想像つかない。もう、それはもちろん命が危ないっていうのは漠然とは分かるけど、でも、何かその津波が来たところで、何とかなるやろうっていうようなね、意識の方が多分たくさんいらっしゃるかなと思うんです。

だから、やっぱり防災意識をつけるっていう意味では、いざ災害が起こったとき、こういうことが起こりえますよっていう映像を、じかに見たほうが、やっぱり一番、「あ、これは怖いですね」という感じで、それはやっぱり自分らもちゃんと防災を日頃から意識つけてちゃんと備えとかなあかんっていう意識が、僕はついたんですね。その映像を見させてもらって。なので、そういった映像をね、やっぱり「命を守るために」みたいな感じで気軽に見てもらえるようなものがあるのであれば、それが基本的に、皆さんの防災意識が高まっていくものになるんじゃないかなと思ったりもしています。以上です。

○五十崎部会長

ありがとうございます。ほかに何かございましたら。

じゃあ、私からちょっと、太郎良さん、いかがでしょうか。どちらでも結構です。とりあえずふだんからの備えということで。

○太郎良委員

そうですね、運営方針（案）の中にもありましたように、具体的な取組で6ページの上のほうで、「引き続き、出前講座や訓練説明会等」というのがあると思うんですけれども、こういうのを開催しながら、住民さん、区民さんの方々に、もうちょっと防災意識を持ってもらおうよというような活動を進めていけばいいのかなと。

あと、各地域で防災訓練ですか、年に1回やられると思うんですけれども、そこへ参加していただく方々、PTAさん、子ども会さんから、たくさんの方に来てもらうような周知活動も必要なんじゃないかなと思います。以上です。

○五十崎部会長

ありがとうございます。次、中川さん、振りますよ。

○中川委員

私も一緒のような意見なんですけどね。そりゃ映像を見ると確かにすごいと思います。だから、そういう防災訓練とかで映像を見せるとかいう、体育館でですね、いろいろやっているんですけど、うちは小・中学校と一緒にやるんで、住民の方がもう訓練を見てる側になってしまうんですね。

だから、ちょっと来年は変えようかと思っています。もう学校じゃなしに、もう地域でやろうかというほうに向けていくようにしております。で、私ども、以前は、コロナの前は、和歌山の津波のまちに行ったりしたんですけど、結局、行って見て、初めてそういうふうなことが分かるというのがたくさんあると思いますのでね、そういう機会が何か持てればいいかなと思いますね。

○五十崎部会長

ありがとうございます。

順番に、山中さんのお隣の方、何かございましたら。なければいでもう結構です。思いつかんかったら後でも結構です。

○坂田委員

ごめんなさい、今ちょっと思いつかないです。

○五十崎部会長

はい、ありがとうございます。災害の場合は、情報として「異常なし」も大事なことで、それで結構でございます。

糸岡さん、何かありますか。

○糸岡委員

そうですね、私たちも、防災訓練というのは、毎年、行事でありまして、でも、たくさんの方にとって、いつも同じ方が来ていらっしゃるとか、だからもっと呼びかけとか、あと本当に真剣に取り組んでいるつもりですけど、皆さんが来てくださらない感じは、そこはちゃんと何か呼びかけたりなんかもう、また違うやり方で広めていく、SNSでも、何かもっと電話したりとか、こんなんやってますよって、もっと何かPRするといいかなくて思っているんですけど、取組は常にやらせてもらってて、去年とかも今年もまた違った内容とかでやってたりするので、役員側は何かやってる感じになってるんですけど、やっぱり一般の方まで本当に、もういけてるかっていうと、本当まだそこはすごく思うところなんですけど、だから、ちょっともっと考えて、こういう取組をしていきたいなって思います。

○五十崎部会長

ありがとうございました。

大山さん、いかがでしょう。

○大山委員

私も、役員というか女性会ではそういう取組だったりとか防災訓練に出たりとか

するんですけれども、大体行く人ってもう限られてくるんですよね。もっともっとたくさんの方に参加してもらえたらいいんですけれども、都合が悪かったりとか、皆さんお忙しい方が多いので、駄目だと思うんですけれども、何かその町会でも、そういうふうな取組ができたらいいかなと思いますけどね。

○五十崎部会長

ありがとうございます。すみません。

そしたら、私からなんですけれども、今回、皆さんちょっと気づいていらっしゃるかどうか。今回、資料が前よりも見やすくなっていると思います。今回、来られた方はあれなんですけれども、前回、もうちょっと煩雑で、前回の委員さんからも、ちょっと見にくいねという話があって、大分改善していただきまして、ありがとうございます。数字とかグラフとか出していただきました。

で、私の場合、資料1の3ページ、この防災出前講座の実施回数が、令和6年が15回で、令和7年が6回と、ちょっと減ってるわけなんですけれども。

ちょっと別の話になるんですけれども、今月、2月5日に、ここの住之江区の防災士の資格を持ってる方の、集まってもらえる方だけ集まりまして、そういう会合がありました。その中で、ちょっと私が提案させてもらったのが、すぐじゃないですけれども、防災士として伝えられることをちょっとやっていきたいなあという感じで、こういう出前講座も開催されるのは、日曜日とかは基本的にはちょっと区役所さんとかはできなくて、やはり企業さんですとか、ちょっと私も分からないですけど、企業さんですとか、高齢者の方が対象になっているんじゃないかなあと思って、その代わりに、ちょっと、その防災士が代わりにそういうことをできたらいいなあという感じを持ちました。

あと、中学生の人材の件なんですけれども、他区でも、今、ジュニア防災士が、ジュニアリーダーという制度が、ちょっと設立されているところが、ちょっとずつ何か増えていっているような気がしますし、それからちょっと私も周り、そういう啓発

活動をしているんですけれども、全部が全部じゃないんですけれども、やっぱり住之江区も、ちょっと防災フェアとか何か、そういうのをやっていただけたらありがたいなあと。まあ区民まつりで、そういうコーナーはあるんですけれども、そういったことをしていただけたらありがたいなあとと思っています。そういう中で、そういう啓発活動をしていったらいいかなあとと思うんです。

それで、このカードの利用についてなんですけれども、そういった勉強会の中で、実際に使ってみて、参加者の方に書いてもらってやってもらうというのも、一つの手じゃないかなあと考えております。

前回、私どもの町会のほうで、こういう避難のマップを、外国人の方が今、増えてきてますので、ちょっと多言語でのやつも掲示板に貼っていったらどないかなという意見も出ました。そういう形で地道にちょっと啓発活動をしていったらいいかなと思うんですが。まだ時間はありますね。

○中川委員

ちょっといいですか。ここの小さいほうなんですよね。後ろに何かこう、ここに何か「きりとり」と書いてあるの、これは切ってしまうんですか。

○戸井防災安全担当課長

そうです。この上の部分だけを携帯版として。

○中川委員

ここだけ。

○戸井防災安全担当課長

はい。ここだけ、ここは書き方が書いてありますので、そういう感じで。

○中川委員

ああそうか。これを切って使うわけですね。

○戸井防災安全担当課長

はい。

○中川委員

まあなるほど。これの配布なんて、かなり量があるんですか。住民に配付できるくらい。

○戸井防災安全担当課長

まあ出前講座を中心にお配りしているような形なので、一般の方が全員持ってらっしゃるかという、そうではない。

○五十崎部会長

これの、今すぐ、いろいろ意見を言いにくいでしょうけど、ちょっとパッと見、この辺を変えたらどないだとか、ほんでコロナにしても、もうちょっと過ぎ去ってますんでね。もちろん、避難所開設のときは、受付そういった形を取られると思いますが、数値的にも変わっていくだろうし、また今度、今年の5月からまた消防の表示も、ちょっと1から5という形のあれで、何かまた変わるということで、いろいろ情報ってコロコロ変わってややこしいんですけども、何かもっとシンプルなもののほうが見やすい方法とか、私はちょっと何かこう、フロー図的に、「はい」「いいえ」みたいな感じで何か、シンプルで分かりやすいほうがいいかなって、具体的にこうやと、今ちょっと具体的には説明できないんですけども。何か、この辺の地図で何か、女性的に見て何か。パッと見たらちょっと、文字が多くて。

○糸岡委員

上の感じで大きい字。

○大山委員

でもね、大分削らないとあれですよ。

○糸岡委員

上手にまとめられてるのに。

○大山委員

ねえ、まとめられている。

○糸岡委員

あんまり小さい字だと読みにくいし。

○大山委員

読みにくい。

○五十崎部会長

読みにくい。

○糸岡委員

はい、もう大きな。

○大山委員

大きいですね。

○糸岡委員

そうそう、重要なことが大きく書いてあると思います。重要なことが、パッと見、もう大体、絵として映像に残るほうが早いじゃないですか。文字だけど絵として認識するほうが覚えられるから、多分その方がいいかと思います。すごい、よく読めるといふか、簡潔にパッと書いておられると思いますけど、はい。これを使ってもらおうかどうか、これはやっぱり一緒にやるといふのが、こう勤務してとか、そういう試みはやっぱり、そこから始まりますね、やっぱり。ね、実際、「これまた書いといってくださいね。」とかやったら絶対分からないけど、一緒に、もらっただけでは、絶対にあの、「一緒にこう、書きましょう。書いときましょうか。」という、本当にもう小学生並みの、一緒にやろうっていう感じの取組ってやっぱりね。そんな、何か幼児っぽい感じやけど、でもそれが今、いいかなと思いますが、やって、分からないって言われる方が多分、おられると思うので、一緒にやったらもうね、体験すると分かりますよね。

○戸井防災安全担当課長

まあ出前講座で一緒に書きながらという。

○糸岡委員

そうですね、出前講座ね、いいかなと思います。

○戸井防災安全担当課長

基本的にそういう形で運用したいなと思っています。この大きなものから始まって、持つにはどれぐらいの項目がいいだろうということで、大分そぎ落とされたのがこちらになるという。

○糸岡委員

これは知らなかったです。

○戸井防災安全担当課長

そうですか、小さいの。

○糸岡委員

知らなかったです。全然。

○五十崎部会長

これ何かご存知でした。

○中川委員

いや、今日初めて見ましたこれは。

○戸井防災安全担当課長

逆にね、これを知っていただくための手法とか。

○糸岡委員

これは区にあるんですか。区役所にあるんですか。

○戸井防災安全担当課長

あります。

○糸岡委員

そうなんですか。なんか福祉センターには、前のなんか大きなのが、そのまま福祉センターとかには施設には、届けられてて。

○五十崎部会長

逆にね、今おっしゃったように、これをポンと渡してしまうと、どう書くんだろ
うって、まあ書いてあるんですけど、なかなか。

○糸岡委員

もう書かないですね。

○戸井防災安全担当課長

なかなか手放しで渡してしまうと分かりにくいと思いますね。

○糸岡委員

やっぱり学習、勉強しないとという気持ちで参加するとまた。

○戸井防災安全担当課長

ですので、その活用の方法とかもご意見いただけたら非常にありがたいかな。今
みたいに、知られてないという部分もね、あると思いますし、どうやって渡すと効果
的なのか。

○太郎良委員

ここまでの用紙の質じゃなくても、もうちょっとね、柔らかい感じでやって、学
校単位とかでも配って見たらどうなのか。

○戸井防災安全担当課長

学校単位で。

○太郎良委員

うん。小学校とかのね、プリントに入れ込んどいたら、親御さんが見て「何や
ろ」っていうのがあって、そこからまず、「あ、こんなんあるねんな」っていうの、
まず一つ関心をまずもってもらう。

○糸岡委員

子どもさんとね、一緒に何かできること。多分。

○太郎良委員

「もし、お母さんがおらんときにどうしたらいいの」って言って、「あんたのんちゃんと書いときや」っていうと書かすとかね、書かして持ってもらっとくとか、そういうところから広げていかへんと、そこからやっぱり上げていかんかったら、うん。

○糸岡委員

そうですね。

○中川委員

まあそこからいろいろあれが出てくるわ。意見が。

○戸井防災安全担当課長

ああちょっとね、そうですね。

○太郎良委員

うん。多分、個人情報云々やからっていうのもあるかもしれへんけども、実際に子どもたちが何かあったときに、困っているときに、「自分どこの子」っていうたときに、私こんなんって言って、お父さんとお母さんの連絡先何か持ってないのって聞ける一つのツールになるんじゃないかなと思うんですね。

○戸井防災安全担当課長

じゃあ、この内容が今網羅されていれば、まあ今のところ。ねえ、多分まあまあそれを区政会議で決めた経過もあって、まあちょっと時代とともに何かこうね、追加したりとか、そぎ落とす必要があるのかなというのは、ちょっとお伺いしてみたいなところがあって、まあこの内容でよかったら、あとはどういうふうに使っていただくかというところになるのかなと思ってましたので、この内容でよければ、今、太郎良委員からもありましたように、学校に配るっていうのも。

○太郎良委員

そうですね、小中学生ぐらいに、家族と1回話してみようみたいな付箋みたいなのをつけてみて、ちょっと何か関心をね、あれしてきて、中学生はちょっと親とあまり話す時間はないと思うから、まず小学生のときからまず意識づけするとか、保育園

さんとか、そういうところにこう、ちょっと簡易に置いてみたら、お母さんとかも「何やろう」って取って、まず取ってもらうことがまず必要なんじゃないかなと。

○糸岡委員

でも、こないだ、中学校のまち歩きって、ここに書いてありますけれども、私も女性の防災・防火クラブでまち歩き一緒にさせてもらって、1時間半ほどですけど、全然、何かここが危ないとか、あんまり歩かなかったので、何か歩いているところは大体分かるけど、歩いてないところを、ずっと公園から、ここには何があつてとか、171の電話のかけ方とか、そんなんも説明して、事前にはちょっと勉強して説明したけど、やっぱり中学生の方も、中学校の取組なので、来て受けた感じなんですけど、結構真剣に皆さん聞いておられて、ねえ、何かそういうのもいいなあとと思って。だから、こういうのも絶対あつたら、何かね、つながって行って、若い子に教えて。

○太郎良委員

だから、路上消火栓でつけたので、あれ見れますもんね。うん、自分で見てみいひんかったら分からへんので、結構その。

○糸岡委員

分からない、本当に分からなかったですよ。え、ここにこの、まだブロック塀があつたりとかするんですよ。何か高い危ない感じ、「ここは危ないよ」ってよくみんなで言ったりとか、あとは公園にマンホールトイレが、何かのときはそのトイレ、開けたらトイレになるっていうのが、何かそんなたくさんあつたの知らなかった、近くの公園なのに知らなかったりとか、ここ、貯水槽もここだよとか言って、何か説明したら、やっぱりそれで1時間半ほど、6,000歩ぐらい歩いて回ったんですけど、その取組はすごくよかったなあとと思って。自分たちからはあんまり気がつかなかつたけど、中学校の先生方が、そういう取組をしようっていうふうになって受けたことが、すごい私たちにもよかったっていう結果。こんなのを1月ですかね、27日にしてもらって、そうですね、もう。

○太郎良委員

大人がね、子どもを教えるのって、子どもと一緒に学ぶっていうのは、おんなじ目線でやるっていうのが、一応必要なのかなと思いますね。

○糸岡委員

で、気がつく、何か言うことも、あ、こんなこと気がついてるとか、私らも気がつかなかったことが、教えられたりとかしたので、学びにもなりました。反対に、私たちの学びになって、そこはよかったですけど。

○五十崎部会長

そうですね。それはいいことですよね。

○糸岡委員

うん、何か。

○太郎良委員

過去にね、子どもさんを中学生の防災訓練にも私も参加させてもらって、子ども目線になりながら、なおかつ、こんなやり方もあるよというのを、僕もいろいろね、こう、自分の経験上だったりとか、こういうふうに訓練で前に教えてもらったなというのを、子どもたちに教えてあげてることによって、また、自分も、「おっちゃん、でも、こんなんのときどうするん。」って言われたときのことで、ハッと気づいて、あ、もっとこんなんしたほうが、こんな意見もあったんか。俺らはもうここしか見えないけどな、見えへんかったけど、ああそんなところあるねんという、ね、逆に学ばしてもらうこともあったりするから。

○糸岡委員

そう。本当に電話のかけ方もね、あんなふうになるんだなって、あの無料で171の公衆電話はどこにあるとか、そういうのも何か、1個ぐらいは分かってたけど、何か結構ね、あたりとかでね。実際に本当に使えるかっていったら、何か使える日が1日と何日って、無料、本当に試しで。

○五十崎部会長

1と15で。

○糸岡委員

そうね、1と15でしたっけ、何かあるんですよね。そういうのも全然全く知らなかったんで、いろんなちょっと。

○五十崎部会長

今度、3月8日に阿倍野区役所で、私がそれをやります。171の、私も団体と、日本公衆電話会さんというのをちょっと連携してまして、向こうのスタッフがいないから、訓練機があるんです。171の訓練機、それをちょっと送ってもらって、阿倍野区役所で、その171の訓練機の使い方いうのを教える。

○糸岡委員

行けるんですか、皆さん。行けるんですか、私たちも見れるんですか。

○五十崎部会長

区役所。

○糸岡委員

うん。

○五十崎部会長

大丈夫ですよ、それはもちろん。

○糸岡委員

ああそうなんですね。へえ。

○五十崎部会長

阿倍野区役所、10時から何か気象の方のお話があって、その昼からやるんですけども。あと、こういうの知ってはいりました、これ。

○中川委員

これは知ってました。こっちはね。

○五十崎部会長

ねえ、中川さん、知ってはるって。

○中川委員

これはちょっと今、何やろうなって。

○戸井防災安全担当課長

まあ、更新版といいますか。携帯版という形なんです。

○中川委員

下は書き方が書いてあるね。どうするか。

○中川委員

これは指導が要るでしょうね。書くのに。

○戸井防災安全担当課長

まずは触れていただいてというところに置かせて、本当に何日前とかになったら。

○太郎良委員

まあ、ここまでカラー刷りじゃなくても、まあ取りあえずね、白黒版で一旦ね、
こんなんがありますよっていうのを見てもらう。

○事務局戸井防災安全担当課長

はいはい。

○太郎良委員

で、まあ「これ何やろう。」っていうのんで、問合せ先みたいなのを、ちょっと
下に区役所なんかのネームを入れといてしたら、なら。

○戸井防災安全担当課長

使い方を。

○太郎良委員

うん。興味ある人はもう、電話してくれはるし、もしくは近くにおける地域・防災
に関係している人たちに、「こんなん回覧板に入ってる、何これ。」って言って。

○戸井防災安全担当課長

そうですね。

○太郎良委員

ああ、これ何、聞いたよっていう話にしてあげたら、向こうも、受け取った側も活用しやすいし。

○戸井防災安全担当課長

手に取ってもらえるきっかけづくりですね。

○太郎良委員

うん、そうですね。

○戸井防災安全担当課長

ありがとうございます。

○五十崎部会長

まあその前提にこうね、防災意識いうんが、自分は大丈夫という、そういう気持ちが多い方が、もう僕らでも啓発会とかするって、うちところは大丈夫やという感じの声、その辺のこともあるんでね。いろいろなそういう地道に、ねちねちと啓発活動をしていくことかなあと思っているんですけどもね。やっぱりそういう機会を、ちょっと増やして、できたらそういう出前講座、平日、日曜日でもできるような感じで。

○中川委員

こんぐらいの、来る人が限られてくる、同じ人ばかりになってしまうので、そこを何とかこう、いろいろな人に来てもらうとか、そういう何か方法ないだろうか。

○戸井防災安全担当課長

ねえ、その方策があればね。

○中川委員

ええ。大体その防災訓練、もう紹介されます。来ます。で、前までは、ほかのこの住んでる団体も来ったんですよ。まあ来てくれまして、こないだは、やっぱり

もう町会だけになってしまって、幼稚園呼んで、あとはちょっと中高一貫校で来なかった。まあ府立と市立になってしまって、ちょっと疎遠になってる感じがあるんですよね。だけど、こないだ、ありましたね。町会団体、学生町会がありましたね。ああいうのはまた協力とかしてくれますのでね、1回、その辺で使って、いろいろなものを使ってですね、呼びかけて、誰でも来てもらえる。したほうが、したらと思いますけど。本当にもう限られてしまうんでね。もう皆さんからしても、来る人もおんなじやとかね。

○戸井防災安全担当課長

どこの地域でも起こり得る話なんですかね。これはね。課題ですかね。

○太郎良委員

取りあえずやってみて面白いかなあというのは、何やろう、学校の運動会。

○戸井防災安全担当課長

運動会。

○太郎良委員

運動会のところで、地域防災リーダーが、放水訓練してもらったらいいinchやうん。で、「みんなやってみよう。」って言って巻き込むのも一つの方法。うん。見て触ってみてみないと、いざのときっていうのが分からへんのやから、まず、分かっている人間一人がおって、3人でも2人でもええから、まず、使える人間まずつくる。そこから、ほかの人も、いろんなん見た。あんなこと見たなって思っている人が、いろいろな意見出して、そんな意見が言えたらやってみいやってなって、お互いがこう向上していくっていうやり方も。

○戸井防災安全担当課長

秋ですし。

○太郎良委員

そうそうそうそう。うん。

○戸井防災安全担当課長

防災の、そういう季節と。

○太郎良委員

防災の、ええ、そうね、なるから、そういう形で進めるのも面白いんじゃないかなと思うんですけども。

○戸井防災安全担当課長

学校の協力も得てということになりますね、そこは。なるほど。

○太郎良委員

まあ、うち清江校下は、グラウンドが芝生なんですよ。そこで芝生に水をやって一環で、水鉄砲大会をやるんですよ。そのときに去年は、ほんまに防災リーダーが放水訓練をやったんですよ。まあ、この子どもらは上からかける、熱中症対策みたいな感じでやりながら、なおかつPTAのお父さんとかお母さんとか、ちょっと筒だけ持ってみていうて持たすということをやったりして、まず触ってみれる状況をつくってあげるのが一番ええんかなと思ったり。

○戸井防災安全担当課長

まあ、大ざっぱにいうと、人の集まる機会を捉えてということになりますかね。

○太郎良委員

そうです。そこに顔を出す地域防災リーダーの作業服を着て行ってもええと思うねん。「何の服、それ。」っていうのが、興味を持ってもらう。

○戸井防災安全担当課長

日頃見ないですからね。

○太郎良委員

そうそうそうそう、うん。実際のときしか見いひんとか、訓練のときしか見いひんのやったら、逆に着て行って、「その服、何ですのん。」でいうのんで、「いや、汚れるからなあ。」って言うて、わざと着て行くとか。

○戸井防災安全担当課長

目立ちますけど。

○太郎良委員

そうそうそう、そうやってみんなの関心をまずひくことが、必要なっちゃうのかなと思う。興味持ってもらわなければならない。で、そこから入り口で、「いや、こういうのやってんねんけどな」って、「一緒にやらへんか。」って言って持ってて、「やっ」といて損はない。」って言って、「いざとなったときに」っていうて声かけしてあげたら、うん、もっと浸透していくかなと思うんですね。

○五十崎部会長

今はもう、子どもの防災教育というのがね、すごい重要にはなっていて。

○太郎良委員

逆に、そうやって子どもにも教えてあげたら、今度、家に帰って、お母さん、お父さんに、「今日こんなんやってね」っていうことから、また派生するじゃないですか。

○戸井防災安全担当課長

はいはい。

○太郎良委員

子どもがこんなことを学んできたんやったら、私らも無関心ではおられへんかってなると思うんですね。

○中川委員

どうですかね。

○糸岡委員

すごい何か会話が生まれますよね。何か会話って今、なかなかね、ないから、本当に小学生のときはちょっとぐらいあるかもしれないけど、中学になったらほとんど会話とかがね、なくなるって言われているので、やっぱり会話って大切やなっていう

のは思いますし、何かの一つのきっかけ、話題があったらね、おしゃべりとかして。

私も1月の17日ですかね。防災リーダーの指導者講習会っていうのがありましたて、皆さん行かれると思うんですけど、順番に。それを今年は言われて、東大阪にはもう訓練校に行ってきたんですけど、でも、女性防火クラブなので、毎年、訓練校には行ってるんですね。何かそういう体験に、何回も、もう十何年ぐらい行っているんですけども。でも、その指導者の講習会っていうのに「勉強してきて」って言われたので、1日ぐらい何か結構机上の勉強と、あと最後、実践、避難、「ここの向こう側は被災地です。」っていうので始まって、服着て行ったんですけど、何かグループで行動しないと絶対いけないっていう話で、一人とか行動やったら命を落としたりするからっていう消防署の人とか、何かそんなん、急にどこで被災するか分からないし、そのときに誰と誰と誰と誰とで、こう呼べたり、大声出したりができるんかなあって思ったんですけど、でも、それって、何回もいろいろな訓練をしてたら、ちょっとできるようになるらしくて、私まだ1回目なので、全然無理だと思ってたんですけど、それでも学べたので、すごいやっぱりそういう訓練っていう、消火器でも、何か消防署の人が言っておられたけど、「僕たちも、何回も何回もするんです。」って。やり方は分かってても、何回も何回も訓練で、それが、それで何か消防士になっていくんですって言われてて、だから、「1回やったらもう分かるわ。」じゃなくて、本当に体験ね、訓練を何度もすることによって、何かもう慣れてくるっていうか、何か。

○太郎良委員

なじむ。広範になじむ。

○糸岡委員

そう、なじみになってきて。

○山中委員

頭で分かっているけど、いざというときは、やっぱり動かない。

○糸岡委員

そうです。そうですよね。ほんで、また忘れてたりとかしてね。

○山中委員

いや、もうだから頭で分かってて、体で覚えとかんと。

○糸岡委員

そうですよね。

○山中委員

頭で分かってても、いざってなったときは、ああもうほんまに真っ白になるんですよ。で、どうやったっけ、どうやったっけってなるから。もう体で覚えさすみたいな感じですよ。

○糸岡委員

うん、もうだから何回やってもやっても、ありがたいことだと思って訓練しているんですけど、参加しているんですけど。去年の8月のその防災アドバイザー、講習会っていうのがありましたでしょ。

○五十崎部会長

アドバンス講座。

○糸岡委員

そこで、初めて私は行ったんで、参加したんですけど、避難所開設のときやって、そういうのってあんまり知らなかった、何回かはやってたんですけど、地域でも。だけど知らなくて、何か結構人が来はります。したら、受付が、女性の人、担当してくださいって言われたんだけど、そこで「分ける」っていうのを、熱がある人と、何か熱なくてとか妊婦さんとかって、そういうのってあんまり知らなかったの、そこで、名前も全部カタカナにしてくださいって、読みやすいように。何か漢字で書いてたら、読み仮名とか分からないから、全部こういうときはカタカナですって。そういうのも学んだりとか、初歩的なことなんですけど。何かそういうのでも。何か。

○太郎良委員

阪神大地震のとき、そうでしたね。あのときは、死亡者の名前がね、漢字が分からないから、カタカナで。

○糸岡委員

カタカナがいいみたいで、いうことを、いや、何か本当にそういうのも、一般の方に、何かちょっと参加してもらって、何かどういう雰囲気になるか。ほんまに、けどほんまに地震とか起こって、災害起こったらもう、私たち、ちょっと分からないかもしれないので、やっぱり何回もそういうのんで訓練したほうがいいかなって思いますね。何かはい。

○五十崎部会長

はい、ありがとうございます。

○糸岡委員

すみません、遅くまでしゃべって。

○五十崎部会長

もうちょうど時間になりましたんで、これで終了したいと思います。

本日の会議の内容につきましては、区政会議の全体会において、情報共有を図ることとしていますが、今回の区政会議全体会は、3月17日の火曜日に開催を予定しております。決定次第、事務局からお知らせいたします。

また、事務局におかれましては、本日の議論内容を整理いただき、全体会で報告できるよう資料の取りまとめをお願いいたします。

本日予定しました議題は以上でございますので、部会を終了いたします。議事進行にご協力をいただき、ありがとうございました。

最後に、事務局から何かありましたらお願いいたします。

○戸井防災安全担当課長

五十崎部会長、ありがとうございました。

本日は長時間にわたりましてのご議論、本当にありがとうございました。いただ

いたご意見をしっかりと受け止めまして、今後の区政に反映していけるよう取り組んでまいりますので、引き続き、どうぞよろしく願いいたします。

本日の議論を踏まえまして、部会長より指示がございました全体会で報告する資料、これにつきましては事務局と部会長に一任いただきましてもよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○戸井防災安全担当課長

ありがとうございます。

それでは、これで住之江区区政会議第3回防災・安全部会を閉会いたします。

部会長からもございましたように、3月17日、またご予定ございますので、全体会へのご出席をよろしくお願ひします。

本日はどうもありがとうございました。お疲れさまでした。